

Title	第五十巻自第一号至第六号総目次：昭和三十二年上半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1957
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.50, No.6 (1957. 6) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19570601-0108

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十卷 自第一号 至第六号 総目次 (昭和三十三年上半期)

論 説

経済心理学における同型理論Ⅱ……………	中 鉢 正 美	一 号	一 頁	通 頁
地方産業の現状と問題——遠州綿織物業を事例として——……………	青 沼 吉 松	一	一八	一八
アメリカの土地投機に関する一研究——Holland Land Company の場合——……………	中 村 勝 己	一	三九	三九
世界為替政策の動向と若干特徴——第二次大戦後の世界為替研究序説——……………	金 原 賢 之 助	二	一	七三
生産性指数と分配の問題……………	鈴 木 諒 一	二	一八	九〇
古典学派の崩壊と「賃労働」分析の転換——J・S・ミル——……………	井 村 喜 代 子	二	二九	一〇一
近世後期における農書と物価……………	島 崎 隆 夫	三	一	一四九
近世関東における農村奉公人賃銀の研究……………	連 水 融	三	一五	一六三
近世村落形成期における年貢負担者について——武州多摩郡連光寺村——……………	安 沢 秀 一	三	三一	一七九
ドイツ農民戦争の歴史的意義(上)……………	寺 尾 誠	三	五七	二〇五
「医療保障制度に関する勧告」の批判……………	園 乾 治	四	一	二三一
経済政策の目的と価値判断……………	加 藤 寛	四	二七	二五七
農業恐慌理論の一省察——十九世紀末農業恐慌の性格について(一)——……………	常 盤 政 治	四	四三	二七三

ドイツ社会民主党初期の財政論……………	大島通義	二	六七	二九七
F・シェーンブルクをめぐる若干の基本的問題……………	小島三郎	四	八二	三一二
欧州共同市場成立の世界経済的意義……………	山本登	五	一	三四三
ナポレオン戦争後の恐慌期における労働運動と急進主義運動——ウィリアム・コベットの時代……………	飯田鼎	五	一一	三五三
経済学における精密法則の論理的妥当性と現実適用可能性……………	富田重夫	五	二八	三七〇
産業再編成の最近の特徴と問題点——戦後日本の産業再編成による独占支配強化の諸形態について……………	尾城太郎九	五	四四	三八六
経済分析における地方経済観察の意義に関する若干の考察……………	小島栄次	六	一	四四五
「老農」形成の基盤についての若干の考察……………	島崎隆夫	六	一六	四六〇
ロルシュ帝国貸子帳——Lorscher Reichsurbar……………	宇尾野久	六	二八	四七二
ドイツ農民戦争の歴史的意義(中)……………	寺尾誠	六	四四	四八八

資料

最近における物価史研究の動向……………	渡辺国広	一	五三	五三
安定均衡の経済表に就て——ウーグ博士の『フランソワ・ケネーの経済表』を中心として……………	渡辺建	二	四六	一一八
いわゆる中世的自由について……………	宇尾野久	五	六二	四〇四
W・ゴドウィン「政治的正義」——初版と三版の差異について……………	白井厚	五	六九	四一一
本邦経済資料解説(一)……………	辻村江太郎	六	六八	五一二
ケネー経済表(原表)の疑義に就て——坂田太郎教授の『ケネー経済表』の「訳者解説」を中心として……………	渡辺建	六	八〇	五二四

学界展望

一九五六年下半期の国際経済学における二つの問題……………	白石孝	二	六一	一三三
均衡点の存在定理——最近の理論経済学界の一動向……………	福岡正夫	五	八〇	四二二

書評及び紹介

D・ハンフレイ著『アメリカの輸入』……………	白石孝	一	五九	五九
三菱経済研究所『世界貿易—自由化問題の背景』……………	白石孝	一	六一	六一
岡 稔著『ソヴェト工業生産の分析』……………	加藤寛	一	六二	六二
T・W・ハチスン「経済学者としてのペンサム」……………	服部成三郎	一	六五	六五
穂積文雄著『英国産業革命史の一断面』——ラダイツの研究……………	飯田鼎	二	六七	一三九
有沢広巳編『統計学の対象と方法』——ソヴェト統計学論争の紹介と検討……………	佐藤保	二	七〇	一四二
S・A・アバスによる東南アジア発展所要資金の算定……………	白石孝	四	九七	三二七
ピレンヌ著『中世ヨーロッパ経済史』……………	渡辺国広	四	一〇〇	三三〇
高村象平他訳『中世ヨーロッパ経済史』……………	飯田鼎	四	一〇一	三三一
ウィリアム・Z・フォスター著『世界労働組合運動史概観』……………	飯田鼎	四	一〇一	三三一
堀経夫著『イギリス社会思想史概説』……………	飯田鼎	四	一〇一	三三一
水田洋著『社会思想史の旅——イギリス』……………	白井厚	四	一〇五	三三五
同 著『社会思想史の旅——イギリス』……………	白井厚	四	一〇五	三三五

ピータ・F・ドラッカー著『現代の経営(上、下)』……………野口祐	五	八六	四二八
三菱経済研究所著『綿と化繊の産業構造』——日本経済構造の分析——……………尾城太郎丸	五	九〇	四三二
ゼー・アトラス「社会主義における貨幣流通法則の作用について」……………加藤寛	五	九五	四三七
長守善著『経済政策の理論』……………気賀健三	六	九七	五四一
ハロッド著『ケインズ伝Ⅰ』……………山部徳雄	六一〇〇		五四四
塩野谷九十九訳『ケインズ伝Ⅰ』……………			